

山野で採れた野生のキノコなどは、食べる前に放射能測定をしましょう！

■問／環境衛生課 放射線モニタリングセンター TEL 573-2557

令和7年度中に市民の皆さんが持ち込む食品などに含まれる放射能を測定した総数は、1,104件です。
このうち、放射性セシウムの摂取基準値(100ベクレル／キログラム)を超えて検出された件数は50件で、全体の4.5%を占めています。中でも、秋に旬を迎えるキノコ類は40%と、他品目に比べても高くなる傾向があります。

山野で採れた野生のキノコなどを食べる際は、事前に放射能測定を行い、安全を確認することをおすすめします。

食品の放射能測定をご希望の際は、各測定所へ直接お問い合わせください。

出荷販売を目的としない、市民の皆さんの持ち込みによる食品の放射能測定の結果(令和7年度)

測定品目	測定件数 (A)	検出件数※2	うち基準値 超過数※3(B)	基準値超過の 割合(B)/(A)
令和7年度の測定合計	1,104	125	50	4.5
キノコ類※1	35	26	14	40.0
シイタケ	12	11	5	41.7
ナメコ	6	4	1	16.7
ナラタケ	4	2	1	25.0
アミタケ	3	3	2	66.7
コウタケ	3	3	3	100.0
クリタケ	2	1	0	0.0
サクラシメジ	1	1	1	100.0
シャカシメジ	1	1	1	100.0
果物・木の実	247	2	0	0.0
カキ	45	0	0	0.0
ユズ	27	0	0	0.0
クリ	12	1	0	0.0

※1 キノコ類は出荷が制限されています。

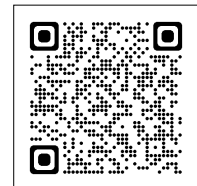
※2 検出件数：本市では簡易測定装置を使用しているため、検出限界値が20ベクレル／キログラムとなり、この数値を下回る場合は、不検出となります。

※3 基準値超過数：一般食品の場合、放射性セシウムの基準値100ベクレル／キログラムを超過して放射能が検出された件数です。

※4 測定品目の内訳は件数が多いものから抜粋しているため、合計件数とは一致しません。

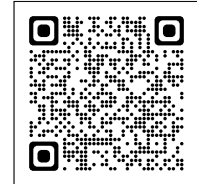
ご家庭の食品中の放射能
測定結果をお知らせします

クリックでもページに
移動できます



食品中に含まれる放射能
の測定を行っています

クリックでもページに
移動できます



ホールボディカウンタによる内部被ばく検査の結果をお知らせします

【令和8年3月31日現在】

■問／保健所 保健総務課 TEL 525-7681

検査実施状況

年齢区分 ※1	検査対象者数(人) ※2	検査累計人数
10歳未満	17,269	6,560
10歳代	22,525	82,355
20歳代	23,787	60,868
30歳代	26,423	10,689
40歳以上	172,865	62,280
計	262,869	222,752
その他 ※3		3,316
ひらた中央病院		1,183
合 計	262,869	227,251

検査結果

預託実効線量(注1)は、受検者227,251人全員が1ミリシーベルト未満となっています。

(注1)計測された放射性物質の量から推定した、成人では50年間、子どもでは70歳までに体内から受ける内部被ばく線量。

検査結果の概要

福島市健康管理検討委員会(注2)より、「健康に影響を与えるような数値ではない。」との見解をいただいています。

(注2)医師や専門家などで構成する委員会。

※1 年齢区分の基準日は、令和7年3月31日現在

※2 検査対象者数は、令和7年3月31日の住民基本台帳人口

※3 避難区域内の市町村からの避難者など市に住民登録がない方